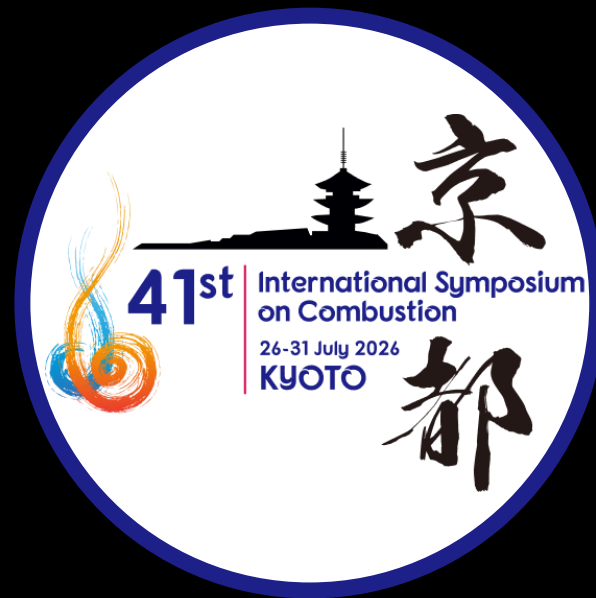




Yamaguchi University
D2 Kanji Makino

第41回 国際燃焼シンポジウム

開催地：国立京都国際会館



国際燃焼シンポジウム（ISOC）は、燃焼研究者にとって最高峰の国際学会です。
隔年開催され、日本での開催は2002年の札幌以来、24年ぶり3回目となりました。
2,000名程度が参加し、1,000件以上の研究発表が行われました。
過去最大規模とのことでした。

学会までの日程

4-page paper 投稿締切：12 November 2025

ISOCへの採択通知：2 February 2026

8-page paper (Proceedings of the Combustion Institute_正式論文) 投稿締切：15 March 2026

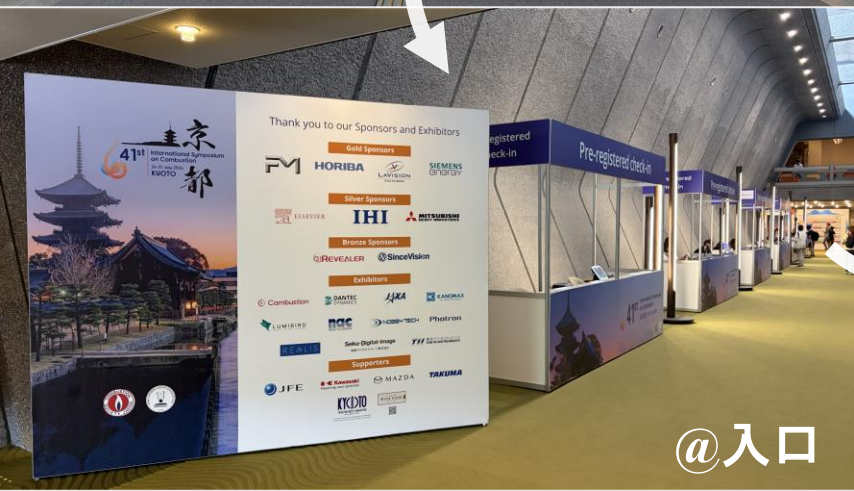
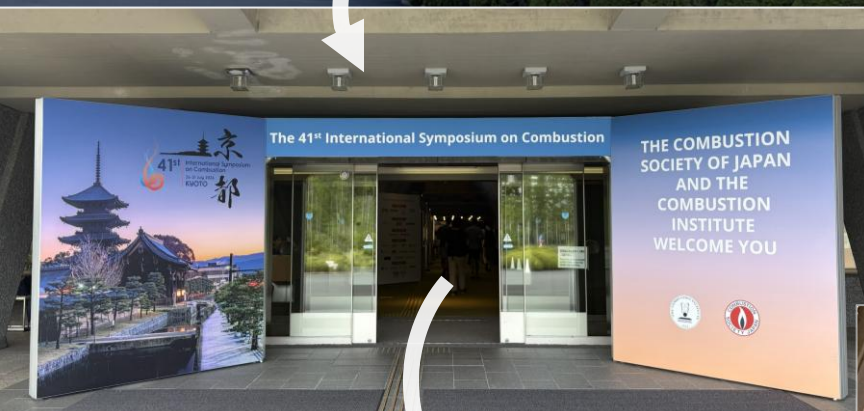
Work-in-Progress Poster (WiPP) 投稿締切：15 April 2026



国立京都国際会館
Kyoto International Conference Center



1997年に
COP3が開催された会場です



@メインホール

講演中は...

@入口

TUESDAY 28 JULY

Registration Open
7:30-16:00

Plenary Lecture
J. Kasahara
9:00-10:00

Coffee Break/WiPP
10:00-10:30

Poster Paper Session
Event Hall
10:30-12:20

Lunch Break
12:20-13:40
Women in Combustion Lunch

Oral Paper
Sessions

13:40-15:40

Topical
Review
A.
Poludnenko

Advances in
Detonative
Propulsion

Coffee Break
15:40-16:10/WiPP

Oral Paper
Sessions

16:10-17:50

Advances in
Detonative
Propulsion

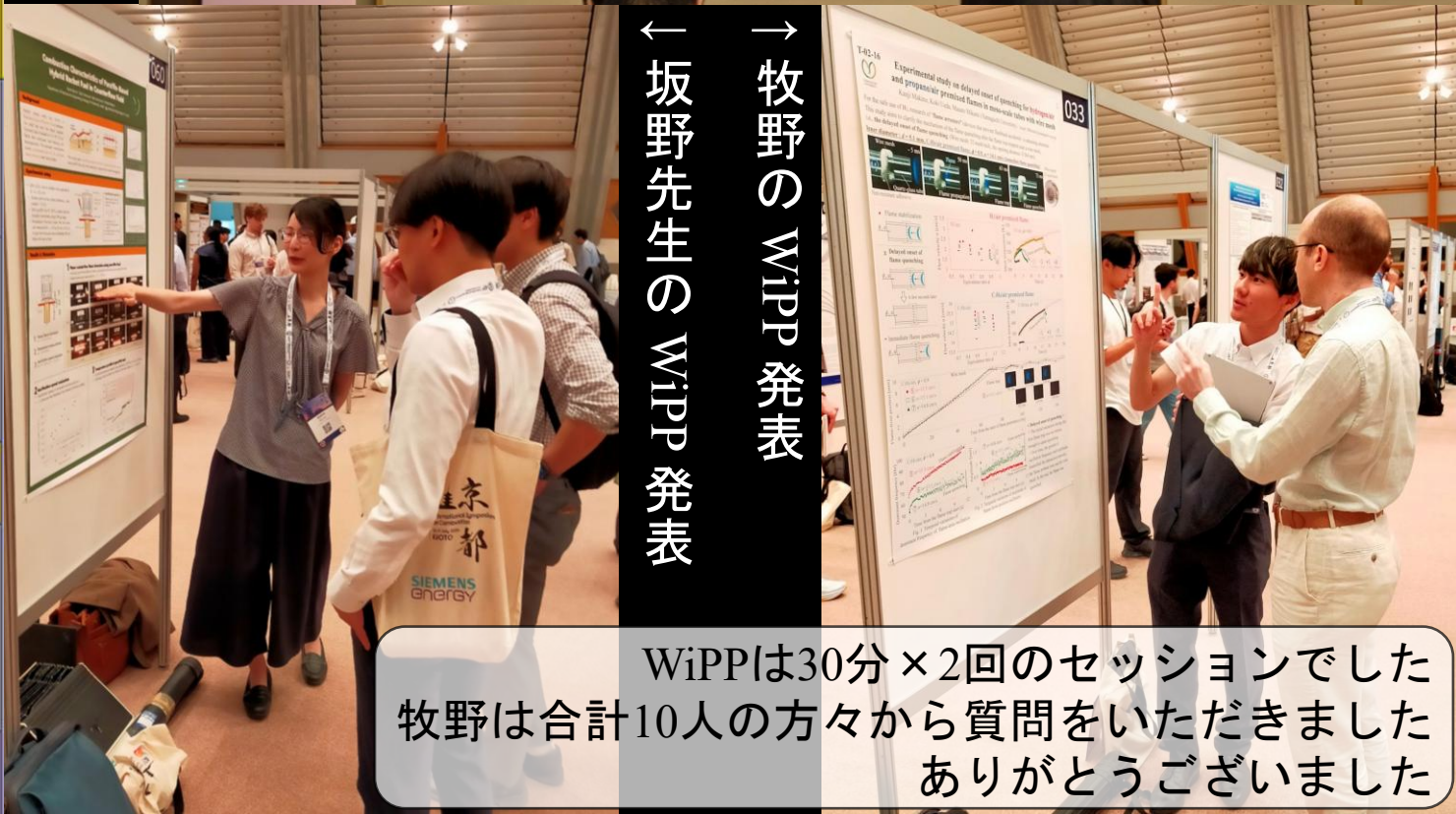
Fireworks/Reception
18:00-20:30

→ 三上先生の口頭発表



← 坂野先生のWiPP発表

→ 牧野のWiPP発表



WiPPは30分×2回のセッションでした
牧野は合計10人の方々から質問をいただきました
ありがとうございました



井筒 ハッ橋

Coffee Break

京都をはじめとした
日本のお菓子が振舞われました



天美「蒼」純米吟醸（山口）

Fireworks / Reception (Day 2)

各地の日本酒が振舞われました
花火をはじめ、着物や書道を体験できました



Excursion (Day 3)

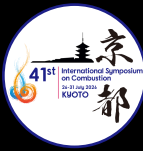
伝統芸能「能」の鑑賞だけでなく、
舞台の体験もできたとのこと



Banquet (Day 4)

学会会場でコース料理が振舞われました
三上先生はVIP席でした

さいごに



ASPACC, KOSCOに続き、三度目の国際学会に参加させていただきました。ポスターは初めてでしたが、経験を糧に活発な議論ができたと思います。また、聴講では興味深い研究が数多くあった半ば、採択に通らなかった悔しさもこみあげました。そして、国内外の研究者の方々と交流できたことは、今後の研究活動のみならず、将来にとっても貴重な経験となりました。ありがとうございました。



学会参加にあたり、多大なるご支援を賜りました三上先生、坂野先生に心より感謝申し上げます。また、発表練習で活発な議論をいただきました研究室の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



KOSCOで出会った韓国の学生達と再会！